

鈴木裕子さん（平成12年に鳥取県からIターン）

“あこがれ続けた山村生活

くずまきの大地で夢を叶える”



（くずまき高原牧場でご家族と）

「北海道や東北の大自然に抱かれて生活をするのが夢だった」と語る鈴木さんは、鳥取県出身。東北の山村生活に憧れて秋田の短大に進学し、先生の紹介で卒業後葛巻町畜産開発公社の研修生になりました。

鈴木さんは、牛の乳搾りや羊の餌やり、宿泊施設プラトーでの接客や事務など様々な研修をこなしながら、町への愛着を深めていきます。そして、牧場で出会った夫・健美さんとの結婚を機に葛巻町への移住を果たしました。

遠く離れた縁もゆかりも無い土地への移住には、抵抗や不安がつきまとうものですが、鈴木さんには研修生時代の友達も多く、また元々活発で行動的な性格も功を奏し、すぐに地域へとけこみました。

葛巻町に移住して16年。結婚後は3人の子どもに恵まれました。「近所の方々がとても親切で、野菜やお菓子を分けてくれたり、子どもの面倒も見てくれます。昔と比べて町の子育て支援も手厚くなったので、子育てにはとても良い環境だと思います。」と、嬉しそうに語ります。

山村生活にあこがれ続けた鈴木さんは、葛巻町でその夢を叶え、今、家族とともに大自然の中で充実した暮らしを送っています。